

## 第2回 バイオビジネス・パートナーリング

### 機能性食品ビジネスとの接点を求めて

～キッコーマン株式会社が求めるパートナー～

2011年 11月 16日(水) 13:20～16:45 (交流会 17:00～)

かながわサイエンスパーク(西棟7階 709号室)

神奈川県と木原財団では県内のバイオベンチャーの成長促進、ビジネスチャンス創出を目的として、バイオベンチャーによる企業PRのプレゼンテーションや参加者との情報交換の場である「バイオビジネス・パートナーリング」を開催しています。この事業は神奈川県のライフサイエンス分野振興事業の一つに位置付けられ、平成19年度から既に15回開催されています。創薬・診断ビジネス、再生医療ビジネス、機能性食品ビジネス、医療機器ビジネス等の分野から、延べ76社の主に県内バイオ関連ベンチャー企業による事業プレゼンテーションが行われてきました。

平成23年度は、昨年度に引き続き、大手企業のパートナーリング戦略紹介と、大手企業とのパートナーシップを目指すベンチャー企業の事業プレゼンテーションを行います。本年度第2回は、機能性食品をテーマとし、キッコーマン株式会社による基調講演で、醸造技術を応用したライフサイエンスに基づく機能性食品の研究開発・研究提携について学びます。引き続き、横浜・神奈川・千葉で活躍する機能性食品、技術支援サービスベンチャー5社のビジネス紹介を行い、ビジネス接点を探ります。また、今回は千葉・神奈川広域連携の一環として実施され、両県のビジネス交流促進を目指します。

機能性食品ビジネスに関する企業の皆様、また、この分野への参入・関係構築をご検討の皆様のご参加をお待ち致しております。

#### 【プログラム】

- 13:00～ 受付
- 13:20～13:25 挨拶：財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局より
- 13:25～14:05 **キッコーマン株式会社 研究開発本部基盤研究第2部長 小幡 明雄氏**  
基調講演：「キッコーマンの機能性食品 ～その研究と開発～」
- 14:10～14:35 かずさディー・エヌ・エー研究所 バイオ産業技術支援センター  
産学官連携コーディネーター 小谷 千里氏
- 14:40～15:05 株式会社Vino Science Japan 代表取締役 熊沢 義雄氏
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～15:45 株式会社ジナリス 代表取締役社長、  
東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授 西 達也氏
- 15:50～16:15 株式会社常磐植物化学研究所 研究開発部 次長 佐々木 務氏
- 16:20～16:45 株式会社インプラントイノベーションズ 代表取締役 高根 健一氏
- 17:00～18:15 交流会 西棟 5F 「ウイズアスマイル」にて

※参加者相互の名刺交換、情報交換などにご活用ください。

【参加費】 2,000円 (交流会費)

【お申込み】 ホームページ <http://yk-bio.net> からお申込みください。

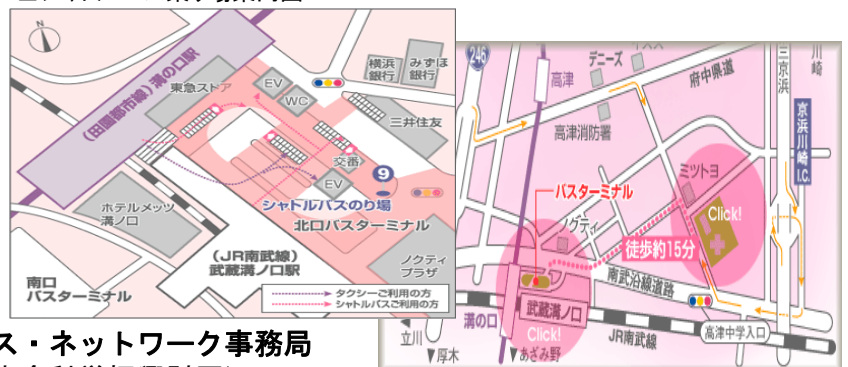
#### ＜会場のご案内＞

かながわサイエンスパーク (KSP)  
Tel 044-819-2211

#### ＜アクセス＞

- ・JR南武線「武蔵溝ノ口」駅下車
- ・東急田園都市線「溝の口」駅下車
- ※溝の口駅バスターミナル9番から
- KSP行き無料シャトルバスにて約5分

■シャトルバス乗り場案内図



【お問合せ先】 横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局

(財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)

電話：045-502-4810 E-mail: info@yk-bio.net

参加費無料  
交流会費2,000円

## 【第2回 バイオビジネス・パートナーリング】

1. キッコーマン株式会社 研究開発本部基盤研究第2部長 小幡 明雄氏

13:25~14:05

基調講演:「キッコーマンの機能性食品 ~その研究と開発~」

2. かずさディー・エヌ・エー研究所 バイオ産業技術支援センター 産学官連携コーディネーター 小谷 千里氏

14:10~14:35

### メタボローム解析の食品研究開発への適用

バイオ産業技術支援センターの位置付け・活動内容などについて概説する。また、当センターで行っている受託業務の中からメタボローム解析に焦点を絞り、その概要説明を行うとともに、食品高機能化など食品研究開発への適用事例を紹介する。

3. 株式会社Vino Science Japan 代表取締役 熊沢 義雄氏

14:40~15:05

### 機能性発酵ぶどう食品 (FGF) のTNF- $\alpha$ 関連疾患に対する効果

前炎症性サイトカインのTNF- $\alpha$  (tumor necrosis factor- $\alpha$ ,) は刺激を受けたマクロファージなどによって作られ、生体防御において重要な働きをしている。一方、TNF- $\alpha$  が病原性因子となっている2型糖尿病、リウマチ、炎症性腸疾患ではその作用を制御することが症状の軽減となる。TNF- $\alpha$  を制御する機能性食品とFGFの免疫薬理作用について紹介する。

休憩 15:10~15:20

4. 株式会社ジナリス 代表取締役社長、東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授 西 達也氏 15:20~15:45

### ジナリスの全成分解析技術の機能性食品開発への応用

ジナリスは、LC-TOF-MSを用いてサンプルに含まれる有機化合物の約80~90%を一斉に分析できる技術（全成分解析技術）を独自に確立した。本技術を用いると食品中などの成分を網羅的に分析できるが、多数のサンプル間の比較分析を精度よく行える。本発表では、食品製造に用いられる原料予測分析や原料混合比予測分析に関する事例も紹介する。

5. 株式会社常磐植物化学研究所 研究開発部 次長 佐々木 務氏

15:50~16:15

### 植物化学のエキスパート~ (株) 常磐植物化学研究所

(株) 常磐植物化学研究所は、昭和24年元厚生 省国立衛生試験所所長松尾仁博士を中心に設立された植物化学成分の抽出メーカーです。植物のもつ機能性成分が抽出・精製された製品は、医薬品原薬、化粧品原料、健康食品原料、食品添加物原料、さらに高度に精製した高純度化合物などは、人々の健康や生活の向上、植物化学への進歩に寄与しています。

6. 株式会社インプラントイノベーションズ 代表取締役 高根 健一氏

16:20~16:45

### 植物バイオR&D支援事業の紹介と機能性トマトの開発

将来を見据えた新しい植物の開発が、近年再び活発に行われ始めています。当社は、遺伝子組換え技術による植物開発を強みとして、研究から実用化までの様々な段階で生じる問題に対して、技術やノウハウを提供しています。本講演では、当社のR&D支援事業に加え、当社で取り組んでいます機能性トマトの開発状況につきましても、ご紹介させていただきます。

■17:00~18:15 交流会 西棟5階 ウィズ・ア・スマイルにご移動ください。

【お問合せ先】横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局

(財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター

電話:045-502-4810 FAX:045-502-9810

URL: <http://www.yk-bio.net> E-mail: [info@yk-bio.net](mailto:info@yk-bio.net)